

# 有明工業高等専門学校

福岡県は全国でも珍しく3校の高等専門学校がある「高専集積地」。熊本県との県境、福岡県大牟田市の有明工業高等専門学校は、



高橋校長

地名ではなく有明海にちなんだ名称が付く。本科の教育カリキュラムは2016年に5学科編成から創造工学科内に6コースを設ける体制に変更した。2年次の前期までは分野横断型の実習が中心。

## 育成モノづくり人材 Vol. 97

### 活発な海外交流、視野広く

学生から3回希望を募り、意向に沿った上で各コースに進み、専門性を磨く。

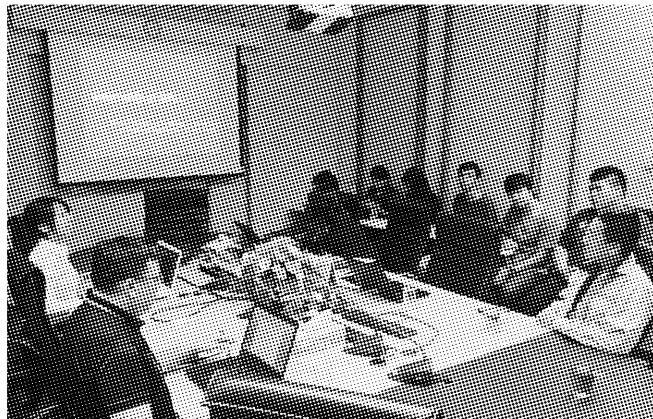
世界とのつながりを地場で交流する。17年度は全国の高専でトップクラスの61人を派遣した。教員レベルではベトナムのホーチミン工業67社が参加する「有明域産業技術振興会」では会員企業との共同研究や受託研究を

実施。会員が増えた効果もあり、17年度は14年度と比べて倍以上の約200人が卒業し、7割程度が就職を希望するが、10人ほどで推して地場企業と接点を移していた福岡県南部や熊本県北部の企業へ

就職にも徐々に効果が出始めた。本科から例年約200人が卒業し、7割程度が就職を希望するが、10人ほどで推して地場企業と接点を移していた福岡県南部や熊本県北部の企業へ

の就職者は17年度に22人に増えた。モノづくりへの入り口を広げ、世界や地元とつながる取り組みの意義を高橋校長は「技術者が陥りがちな視野の狭さを広げるための機会を設けることが重要」と語る。

【DATA】▷校長=高橋薫氏▷所在地=福岡県大牟田市▷学科構成=(本科)創造工学科(エネルギーコース、応用化学コース、環境生命コース、メカニクスコース、情報システムコース、建築コース)、(専攻科)生産情報システム工学専攻、応用物質工学専攻、建築学専攻▷学生数=本科1048人、専攻科57人▷主要設備=高電圧実験システム、分析電子顕微鏡、5軸マシニングセンター、マニュアルローパー、50kN疲労試験機など▷主な進路=キヤノン、NTTドコモ、新日鉄住金、九州電力、日立ハイテク九州、三井化学、東京工業大学、熊本大学、佐賀大学など



海外インターンシップを積極的に展開(タイの天然ガス発電所で実施したインターンシップの報告会)

一方、地域人口の減少で学生確保が難しくなる状況に「10年先を見据え、質重視の教育プログラムを構築しなければならぬ」と危機感を持つ。学内で新たな教育体制を敷いためのプロジェクトチームを編成し、生き残りかけた施策を仕掛けていく。

(西部・高田圭介) (金曜日に掲載)